

第2580地区

# 東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

## Weekly Report

2016～2017年度スローガン

### 『 伝えよう！クラブの歴史と文化を 』

第16回（通算1610回）2016年11月1日

#### ◆ ◆ ◆ 本日の例会 ◆ ◆ ◆

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶       | 〈7〉 11月結婚記念日「結婚記念日の歌」 |
| 〈2〉 国歌斉唱「君が代」       | 原田会員 2日 松林会員 6日       |
| 〈3〉 ロータリーソング「奉仕の理想」 | 榎本会員 16日 白石会員 19日     |
| 〈4〉 ビジター紹介          | 佐野会員 25日              |
| 〈5〉 幹事報告            | 〈8〉 出席状況報告            |
| 〈6〉 11月誕生日祝い「誕生日の歌」 | 〈9〉 メークアップ報告          |
| 牧会員 17日 白石会員 19日    | 〈10〉 委員会報告            |
| 原田夫人 8日 梶間夫君 22日    | 〈11〉 ニコニコBOX 報告       |
| 佐野夫人 27日            | 〈12〉 閉会点鐘             |

#### ◆ ◆ ◆ 本日の卓話 ◆ ◆ ◆

本日の卓話 「私の研究—コンテンツの力」

2016年度米山奨学生 じょん てほ 田 泰昊さん

次週の卓話 〈11/8〉

「相談事例から見る社会的孤立の現状～「地域共生社会」実現のために～」

中野区社会福祉協議会 事務局次長 秋元健策氏

## ◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2016年10月25日 第15回(通算1609回)  
開会点鐘 富永会長 B1「白鳳の間」  
\*ビジター紹介 3名 坂野 茂様(東京中央 RC)  
/細川義孝様(東京新宿 RC)/山口昭夫様(東京  
新都心 RC)  
\*ゲスト紹介 1名 中田あかね様(卓話講師)  
出席 23名 欠席 8名 (免除者 0名)  
出席率 74.19% 補正出席率(10/11) 90.00%

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1. 11/1の会長ノミニー推薦指名委員会並びに  
クラブ諮問委員会の出席義務者の方は必ず  
出席してください。
2. 11/15 東京御苑ロータリークラブとの合同例  
会の出欠を11/7までに事務局に連絡してく  
ださい。
3. 11月のロータリーレートは1ドル102円です。

## ◆◆◆ ニコニコBOX報告 ◆◆◆

渡辺会員:①おかげさまで阿佐ヶ谷ジャズストリー  
ト大盛況でした。②結婚記念日にお花  
をいただきました。

前田会員:結婚記念日の花ありがとうございます。  
今年で47年です。ジャズ、渡辺さん  
お疲れ様。

北條会員:中田さん、卓話ありがとうございます。  
懐かしさ一杯でニコニコと。

萱森会員:中田様、卓話ありがとうございます。  
女性3名のクラブですので是非、復帰も考えてく  
ださいネ。待っています。

今週の合計 4件	21,000円
今年度累計	433,503円

### 事業所住所の変更

中山亮祐会員 株式会社ワイケイシー

【新住所】

〒144-0052 東京都大田区蒲田 4-5-1  
TEL:03-6428-6420 FAX:03-5759-8752

※ 会員名簿の修正をお願いします。

## 会員年次総会の公告

会員各位

会長 富永 英久  
東京セントラルパークロータリークラブ 内規第  
7条により2016-2017年度クラブ年次総会  
を下記の通り招集致します。

記

日時:2016年12月6日(火)13:00より  
会場:ハイアットリージェンシー東京「例会場」  
議題:

1. 2018-2019年度会長ノミニーの件
  2. 2017-2018年度理事・役員ノミニーの件
- 以上

## ◆◆◆ 先週の例会より ◆◆◆



ビジターの皆様をご紹介します。



ソングリーダーの中山会員。



原田プログラム委員長より中田氏のご紹介。

11月  
ロータリー財団月間

## ◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



### 「縁に生かされて生きる」

中田あかね氏

ロータリークラブでご活躍の経営者の皆様方の前でお話するには、私などでは申し訳ないようなものではありませんが、このたび原田様のご命令とあれば微力ながら、お手伝いしないわけにはいかないと、このような機会となりました。未熟者のつぶやきとして寛大なお気持ちでお聞きいただければ幸いです。

もうだいぶ前のことですが、こちらのクラブが「東京中野ロータリークラブ」だった頃に会員としてお認めいただき、数年間お世話になり、勉強させていただきました。長野の中野ロータリークラブに向いたり、沖縄の大会にご一緒させていただいたり、若輩者でも会員として扱っていただき、「職業」への意識をもって活動しているところがとても素晴らしい団体だと感じさせていただいておりました。

私は現在、杉並区阿佐ヶ谷にあります、社会福祉法人杉樹会の理事、法人本部長を拝命し、特別養護老人ホームさんじゅ阿佐谷の施設長を兼任させていただいております。杉樹会はこちらの会員でもあります前田義之社長が創立し、理事長を務めており、渡辺社長、河東先生にも理事としてご指導をいただいております。そして、すべて「ご縁」によって今日に繋がっていると感じる事があまりにも多く、まさに「縁によって生かされている」からには、「縁を活かして生き抜かなければ」と思っています。

私は大学を卒業して、杉並の地で地域新聞を編集・発行する仕事に関わって、その後に独立して小さな会社を作り、皆様方のような地域の経営者の方々のご縁が広がっていきました。様々な職種、業種の方々と関わることで、たくさんを知り、学び、またお仕事もいただくなど、周りはずべて先生であり、お客様であり、恩人と言える

方々のご縁を得ました。会社を立ち上げた時も、複数の方々にご出資いただきました。父が倒れて実家に戻ることになって、結局会社を閉め、数年後になりましたが、出資していただいた方々に出資金をお返しにまわっている時に、かつてお世話になってご恩を受けた前田社長をお訪ねしました。

ちょうどその頃、国家試験を受けて「精神保健福祉士」という福祉の国家資格取得のために、年齢的には半分くらいの二十代の若者に混じって学生生活をしておりましたので、そのご報告と二十代の友人の就職のご相談で杉樹会の老人ホームを見学させていただきました。それがご縁で今日の職につくこととなりました。蛇足ですが、仕事で関わった方からの熱心なお勧めで主人と出会い、結婚することになったのも、予想だにしない不思議な縁でした。

いま振り返ると、これまでの携わった仕事や学んだこと、出会った人、取得した資格、そのために学んだことが、全て現在の仕事に生きています。かつて編集の仕事をしていたことは文章を書いたり、広報関係の業務に直結しています。小さな会社でしたので、経理も労務も自分で実務をこなさなければならず、ひとつずつ実践で学ぶしかありませんでした。縁あって病院、薬局などの医療関係の仕事をしていた時期がありますが、この時に学んだ医療や薬の知識、社会保険関係の資格取得のために学んだことは、結果としていまの福祉現場の日常の中で大いに役立つ、必須のものとなっています。またロータリーはじめ地域の様々な団体、商工会議所や法人会、青年会議所、交通安全協会やまちづくり協議会など、たくさんの活動で走り回っていましたが、そこで得たご縁がいろいろな場面で助けになってくれています。

社会福祉法人杉樹会は福祉分野の中でも「高齢者福祉」の事業を運営しています。要介護度が比較的重く、家庭の事情など緊急性が高い方を主に受け入れる「特別養護老人ホーム」2ヶ所のほか、在宅で介護を必要とされる方々のサポートをするケアマネージャーの「居宅介護支援事業所」、様々な相談窓口である「地域包括支援センター」があります。そのほか、お一人暮らしの高齢者などの見守りを目的にお弁当をお届けする「配食サービス」、障害や要介護を理由に外出が不自由な方々を対象にした介護付きの車での

「お出かけサポートサービス」を行っています。また、子育て応援事業として、多世代が交流できる場と機会の提供を目指して、施設の有効活用と地域の子どもや大人のサークル活動のコラボレーション企画を準備中です。「地域の中で安心して生活し続けられるために、私たちが出来ることをお手伝いする」が法人のコンセプトであり、昨年で設立より20年を経過しました。施設は古くなっていきますが、丁寧に上手に使うて活かしていきたい、ベテランも多数含む職員たちとの貴重な経験の積み重ね、関わって下さる人の力は大切な財産であり、さらに10年、20年…と繋げていかなければと思っています。

特別養護老人ホームという、皆さまはどんなイメージを抱かれるでしょう。私のいるさんじゅ阿佐谷は、現在最高齢は105歳の方で、平均年齢約90歳、50名ほどが生活されています。最近、特に東京では、完全個室のみ、10名1単位で、生活するユニット型と呼ばれる施設しか造れなくなっています。20年前に出来た私共の施設は個室のほか、2名、4名などの多少室も混在し、50名が一堂に会して大きな食堂で一緒に食事するのが日課です。従来型と呼ばれる古いタイプの施設で、違うフロアの食堂に3往復する時間だけでも介護職員にとっては負担であり、効率が悪い運営にならざるを得ません。でも、違うフロアや部屋で生活する方同士が食堂で交流し、移動自体も少なからず運動や刺激になっています。ホームの中もひとつの地域社会、町内会のようなものと捉えれば、多くの人同士の刺激の中で生活する場面があるのも大切ではないでしょうか。個室にこもりたい方は個室を希望され、逆に人の気配がある方が寂しくないという方もいます。様々な生活歴を背景に、いろいろな理由でご入居され、縁あってご一緒にいらっやいます。そこでケアをする職員、看護師などの専門職員、事務方の職員など、私共もまた、それぞれに縁あって共に働かせていただいております、小さな社会を共に築いています。

私は福祉の仕事は、いかなる職種、立場であっても、大切にすべきことは、「優しい」ということ、「自己決定を尊重する」こと、と肝に銘じております。老人ホームは「家」でありながら、集団生活を余儀なくされる「施設」でもあります。しかし老人ホームに限らず、認知症や障害により円滑な意思

疎通がない、あるいはすぐに忘れてしまうような方々の自己決定をそのように考えるか、家族の希望、職員や施設の事情など、綺麗事では片付かない葛藤が毎日繰り返されます。施設に限らず介護の場面では、「優しくありたい」と本来は誰もが思いながら、拒否されや暴力を振るわれることもあり、介護者は家族であっても、職員でさえも、心折れる苦しさにも直面もします。これらを全て受け止め、施設もサービスも地域の方々に必要とされるものであるために、いろいろなところを点検して、時には直して、より磨き上げていかなければならないのが、福祉事業経営なのではないか、と日々勉強させられてばかりです。

「縁」という字は「えん」のほか、「えにし」「ゆえん」「ふち」など、読み方も意味も複数存在しています。ご縁があって今日につながっていると思うとき、何らかの「えにし」や「ゆえん」があるから、と感慨深いものがあります。また、「ふち」にあつて手を差し伸べていただいたり、「ふち」に立って内省したり考えて次の一歩を踏み出すこともある。そのように考えると「縁」の一字が自分の人生でとても大きな意味を持っていると思わざるを得ません。そしてこのご縁のひとつがロータリークラブであり、ロータリーの理念の根底にある「職業」「仕事」から私はたくさんのもをいただき、大切な人々と出会うことができています。会員であったことを誇りに思い、感謝をしつつ、このような機会をいただきましたことに御礼を申し上げます。原田さんとは誕生日月が一緒に、何度も一緒に並んでお祝いしていただきましたし、入会時期が近かったこともあって、やはりご縁のある大切な方のお一人です。いま当時の思い出がフラッシュバックしています。本日は、ありがとうございました。

**例会日** 毎週火曜日 12:30~13:30

**例会場** ハイアットリージェンシー東京

**会長** 富永 英久 **副会長** 白石 正

**幹事** 鈴木 一成 **会報委員長** 杉本 義孝

**事務局** 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: [info@tokyocentralpark-rc.com](mailto:info@tokyocentralpark-rc.com)

<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>